

## ➤ 15日 水曜

### 箴言

17:1 乾いたパンが一切れあって平穩なのは、ごちそうと争いに満ちた家にまさる。

17:2 賢明なしもべは、恥知らずな子をも治め、兄弟たちの間にあって、資産の分け前にあずかる。

17:3 銀にはるつば、金には炉、人の心を試すのは【主】。

17:4 悪を行う者は邪悪な唇に聞き入り、偽り者は破滅の舌に耳を傾ける。

17:5 貧しい者を嘲る者は自分の造り主をそしる。人の災難を喜ぶ者は罰を免れない。

17:6 孫たちは老人の冠。父祖たちは子らの栄え。

17:7 愚か者に雄弁な舌はふさわしくない。高貴な人に偽りの唇はなおふさわしくない。

17:8 賄賂は、その贈り主の目には宝石。その向かうところ、どこにおいても、うまくいく。

17:9 愛を追い求める者は背きの罪をおおう。同じことを蒸し返す者は親しい友を離れさせる。

17:10 分別のある者を一回叱ることは、愚かな者を百回むち打つよりも効き目がある。

17:11 悪人はただ逆らうことだけを求める。その者には残忍な使者が送られる。

17:12 愚かさにつける愚かな者に会うより、子を奪われた雌熊に出会うほうがましだ。

本当の幸せは「平穩」な家庭です。主のみこころに沿った「賢明」なしもべとなりましょう。

「邪悪」や「破滅」の生き方をするような人や行動に興味を持って「耳を傾ける」ことは「悪」への呼び水になります。「貧しい」人を見下げたり、「災難」にある人を興味本位で見るような心がない



か自戒しましょう。

孫、また祖父母を主からの「冠」として、光栄を感じ取りましょう。

「雄弁な舌」や「唇」は「偽り」のためにあるのではなく、真実を曲げない人のためにあります。人によっては「賄賂」に効果がありますが、それは偽る人の話です。

「罪をおおう」人となりましょう。人の罪や失敗を何度も「蒸し返す」ことはやめましょう。

「分別」のある人を見極めましょう。同じ「叱る」のでも、そこに期待があります。「ただ逆らう」だけの人もいますから、人物を見る必要があります。特に「愚かさにつける」ようになかなか変わらない人は、心して交わる必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

